わが子の教育 第３回

平成23年度から 県立高校の入試が変わる！

千葉県の県立高校の入試制度が、現中学２年生から大きく変わる（表参照）。その内容を、県教育委員会教育振興部指導課に聞いた。

入試制度変更はなぜ？ 学力低下が原因？

現行の制度は今年度で七回実施しましたが、中学校・高校などから問題点も指摘されていました。主に、中学三年生の二学期ころから学習に身が入らない生徒が多いなど学力低下が懸念されること、一月以降の中学校の教育活動に影響が出ることの二つです。

入学者選抜の方法等の改善については、有識者による「県公立高等学校入学者選抜方法等改善協議会」で二年間協議を続け、幅広い意見を取りまとめてきました。

五教科が必須に！

最も大きな変更点は、前期・後期選抜とも五教科の学力検査が導入されることです。特に前期は二日間で検査を行い、現行の「特色ある入学者選抜」の理念を継承しつつ、学力と生徒の適性や意欲などを総合的に判断。

また、検査や内申点の評価の割合など具体的な内容も現在、協議会で検討中。遅くとも来年六月には正式決定し、皆さんにお知らせできると思います。

制度変更のメリット 受検生に？ 高校に？

検査までの時間が増えたので、受検生にとっては五教科をしっかり勉強でき、高校での学習がより確かなものになるというメリットがあります。

一方、高校側にもしっかりと勉強した生徒を受け入れられるという利点があります。

＊　＊　＊

記者自身も中学生の子を持つ親。現中学二年生は、小学校入学時にゆとり教育が始まった世代。親子ともども制度変更に翻弄されてきた感があるので、今度こそ良い方向に決まってほしいと、願っている。

入試制度はこう変わる

	平成23年度入試から	現行（期日は平成22年の例）
前期選抜	検査日：平成23年2月中旬（2日間で実施） 発表日：平成23年2月下旬 選抜枠：［普通科］募集定員の30％～60％ ［専門学科等］募集定員の50％～80％ 検査内容：第1日 5教科（国・社・数・理・英）学力検査（1教科50分・共通問題） 第2日 各高等学校において面接、自己表現、作文、適性検査、独自問題等から一つ以上の検査を実施	特色ある入学者選抜：平成22年2月5日 平成22年2月12日 全学科で募集定員の10％～50％ 各高等学校において面接、自己表現、作文、適性検査、独自問題等から一つ以上の検査を実施
後期選抜	検査日：平成23年3月上旬（1日で実施） 発表日：平成23年3月上旬 募集人員：募集定員から前期選抜の入学許可候補者内定者を減じた人数 検査内容：5教科（国・社・数・理・英）学力検査（1教科40分・共通問題）および面接等（面接等は各高等学校ごとに必要に応じて実施）	学力検査等による入学者選抜：平成22年2月25日・26日 平成22年3月4日 募集定員から特色化選抜の入学許可候補者内定者を減じた人数 第1日 5教科学力検査（1教科50分・共通問題） 第2日 各高等学校において面接、自己表現、作文、適性検査等から一つ以上の検査を実施

▽千葉県教育委員会
HP http://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/

どうしてる？ 公立中学校の進路相談

多様な進路先で揺れる中学生。彼らを指導する学校では、どのような進路相談を実施しているのか、市内の公立中学校に聞いた。（期限までに回答があった学校のみ掲載）

高校選び、一番は本人の希望

三者面談の実施回数については、「一年生・二年生は一回、三年生は二～三回」という回答が主。二者面談や教育相談を含めると各学年ともさらに回数は増え、三年生は「随時（明海中・入船中）」という答えも。

進路相談は主に担任が行うが、「学年主任・進路指導主任が担当（見明川中）」という学校もある。

また高校選びの基準について聞いたところ、「①本人の希望、②保護者の希望」が多数。そのほか「内申点」や「本人の学力や入学後に充実した生活が送れるか（見明川中）」、「本人の性格（堀江中）」など。

それでも受験校が決まらない場合は、「二者（三者）面談を繰り返す」「高校見学に行かせる」ほか、「他学年の職員からの助言を得て対応する（富岡中）」という答えもあった。

希望校に手が届かない子への対応は？

「面談等を通して相談・指導を行う（入船中）」、「定期的に個別学習会を実施（浦安中）」、「夏休みから二学期初めまでは、とにかく励ます（美浜中）」、「希望校を目指す理由を他校や大学で目指せないか検討（堀江中）」など、各校ともさまざまな対策をとっている。

県立高入試制度変更にはどう対処？

見明川中は、「正確な情報を収集したうえで対応を検討」、また富岡中は「情報を随時、二学年の職員へ伝え、相談」と、まずは情報収集に全力を注いでいるとのこと。

一方、明海中は「授業での基礎・基本の徹底、指導力の向上に努めている」、浦安中は「勉強が苦手な生徒への定期的な個別学習支援を行っている」と、すでに対策を取っている。

中学生を持つ保護者にとって、受験は一大事。わが子が通う学校の対応は、いかがだろうか？

QED教育アカデミーの考える受験

QED教育アカデミー　代表取締役　江澤 博水

日の出中学校、舞浜小学校で教頭をしておりました江澤と申します。

子どもに力をつけてあげたい！

塾は、公教育のように、児童・生徒の全人格の育成に寄与できないというデメリットを抱えております。が、同時に変化に素早く対応し、スタイリッシュでスピーディーな教育を保護者や子どものニーズにあわせ提供できる利点があります。

当塾では、入学試験に対応した授業を展開する傍ら、幼児教育から、義務教育の最後までを一貫した教育理念のもと実践できるメリットも有しています。子どもたちに寄り添い悩みを聞き、不安を解消し学力をつけてあげることができる、唯一の塾だと自負しております。

入試制度改革について

今回、千葉県教育委員会が発表した公立高等学校入試制度の改革は、学力のある者にとっては全く関係ありません。ただ、私立志向が、公立志向の入試に変化するのではないかと考えております。内申書による特色化選抜は、学校間格差に疑念を残しました。結果、平成22年度入試から、今までの難易度では測れない受験が予想されます。

当塾は、塾長自ら培ってきた、それまでの人脈を活用し、模擬試験業者と業務提携、４大学力検定の準会場校に認定、さらには小・中・高校の入試担当者との連携を図る中、独自の受験・面接のノウハウをご提供します。

「学ぶ意志は時を選ばない：学びたいと思ったとき…塾選」のＱＥＤ。本物をご提供します。

■12月12日(土) 東大生による算数・数学特別授業実施！
小学生10時～ 中学生11時～
■QED説明会(随時)　幼稚園13時半～
小学生14時半～　中学生15時半～

QED教育アカデミー　TEL.047-321-4177　浦安市富士見1-2-24　http://www.qed2009.jp

子どもに確たる「基礎学力」を!!

伸栄学習会
塾長　青沼 隆

全高校の60％は学科試験がない！

公立高校入試が現中2から大幅に変わる。背景には、①学力低下への懸念②入試時期が早すぎる（70％の生徒が2月中旬に受験終了、3学期の授業に支障）という批判がある。

現行の特色化選抜では、学科試験のある高校は56校。これは全高校の40％強に留まる。つまり、残り60％は学科試験を受けないで高校に進学していることになる。

子どもの学習量が増える！

入試改定とは関係ないが、学習指導要領が改訂され、この春から一部が実施されている。内容は、過去に削減された学習内容の復活。つまり、教科書が厚くなって、学校で学ぶ量が増えたということ。

戦後、子どもの学習は減り続けた。ただ、ここにきて振り子の針が逆に振れはじめた。

子どもをきちんと育てるのは大人の責任

伸栄学習会は一貫して、文科省の「ゆとり教育」を批判してきた。この意味で、今回の諸改訂は好ましいものと捉えている。

子どもに確たる「基礎学力」をつけさせるのは大人の責任。伸栄学習会では、子どもを厳しく育てたいと考えている。

伸栄学習会　浦安校【本部】TEL.352-6158　浦安市猫実2-1-5　行徳校 TEL.306-7126　市川市塩焼2-2-65 桜井ビル3F　http://www.shinn.info/

浦安たんけん隊 25

「ホテルオークラ」のゲストホスピタリティを探検

舞浜のリゾート地帯、４２７の部屋数を誇るホテルオークラ東京ベイを訪問しました。案内をしてくださったのは研修担当支配人の木村さん。木村さんは探検隊にお客様をお迎えする心の先生の石川さんを紹介してくださいました。

「私たちは、あいさつ、言葉遣い、身だしなみを大切にしています」ホテルでは従業員仲間を互いに褒め称える仕組みもあるそうです。「例えば、友だちと仲良くするには言葉遣いに気をつければ良いのですよ。また、身だしなみをきちんと整えて、自分の身なりに気遣える人は、他の人へも気遣うことができるのです」

石川さんは『挨拶』という漢字が、心を開いて相手に近づくという意味のあることを教えてくださいました。「辛い時もあります。そんな時こそ笑顔を思い出すのです」小倉さんは石川さんの笑顔がとても素敵だと思いました。山本さんは思いやりを大切にしようと思いました。鈴木くんはあいさつの仕方をよく考えてみようと思いました。西山くんは言葉遣いを良くして、小倉くんは身だしなみもキチンとしたいと思いました。前里くんはさっそく元気なあいさつをしました。

ホテルオークラではコックさんも自らの技術の鍛錬に余念がありません。２００９年千葉県洋菓子作品コンテストデコレーションケーキマジパン仕上げ部門では、なんと金銀銅賞をそろって受賞しています。

◇

お客様が楽しくホテルを利用し、素敵な思い出を持って帰っていただくために、働いている方々の日々の努力があることを知った探検隊でした。

隊員／小倉晴音、山本帆南海、西山知輝、鈴木涼太、前里祐樹、小倉晴太
好浦会／渡辺伸子、伊藤由紀子、一華呂輔（文）

▲マジパンの金・銀・銅賞の各作品が展示されていました

▲マジパンの職人芸に見入る隊員たち

▲ホテルの中はていねいな案内パネルがあります

▲石川さんは隊員にあいさつの大切さを教えてくださいました